



## 博報堂プロダクツと地域活性化包括連携協定

地域課題の解決に向けて、町は(株)博報堂プロダクツと地域活性化包括連携協定を締結しました。

今後は、同社の持つブランディング手法を活用して氷川町のタウンブランドを確立し、第二次総合振興計画で町が目指すビジョン「小さなまちで、大きな幸せを感じる『田園都市・氷川』」のさらなる具現化と発展を目指します。



## 第2回氷川町モルック大会

すば一く竜北において、氷川町スポーツ推進委員協議会主催の第2回氷川町モルック大会が開催され、30人が参加しました。

和気あいあいな雰囲気の中でも、プレーするときの表情は真剣そのもの。チームで話し合っって作戦を立て、狙っていたスキットル(ピン)を倒すことができたり、ナイスプレーが出たときには、歓声が沸いていました。



## 大きな門松が子どもたちをお出迎え

「日本の伝統を見て触れて喜んでもらえたら」と、CS委員さんと地域住民有志が協力し、宮原小学校の正門前に大きな門松を制作しました。

この取り組みは平成30年度から行われており、今回で5回目。CS委員さんらは、制作の様子を見学しようと集まった子どもたちに、門松の由来や歴史などを説明していましたが、その表情はどこかうれしそうでした。



## ミニ門松づくりを体験

すば一く竜北において、氷川町青少年育成町民会議主催のミニ門松づくり体験が行われ、19人が参加しました。

門松についての歴史などを学習したあと、民生委員さんや老人クラブ連合会の皆さんからミニ門松の作り方を教わり、参加者は思い思いに飾り付けて、オリジナルの門松を完成させました。



## 氷川町消防団出初式

竜北グラウンドにおいて氷川町消防団出初式が3年ぶりに開催され、15分団から359人が出場しました。出初式は、火災予防意識の高揚・普及を目的としている式典で、新春の恒例行事として親しまれています。

コロナ禍や前日までの悪天候のため、一部行事

- 緊張感高まる通常点検
- 5年ぶりの優勝を果たし、優勝旗を受け取る第7分団

は中止となりましたが、通常点検では各分団が訓練の成果を発揮し、見事な点検を披露しました。

### 通常点検成績

- |    |               |     |      |
|----|---------------|-----|------|
| 1位 | 第7分団(南鹿野・北鹿野) |     |      |
| 2位 | 第8分団(東網道・中網道) |     |      |
| 3位 | 第12分団(立神・川上)  | 躍進賞 | 本部分団 |



## 祝100歳！濱中マサ子さんが長寿表彰

濱中さんは普段、施設の皆さんと会話することを楽しみに過ごされており、レクリエーション活動にも積極的に参加しています。

長寿の秘訣を尋ねると、「ごはんを食べて、皆さんに素直でいること」とお話しされました。

また、表彰式の最後には、「いろいろお世話いただきありがとうございます」と感謝の言葉を伝えられました。



## 「蓮華の花園」を贈呈

JAやつしろ東部カントリー利用組合の松本会長が本庁を訪れ、もち米のブランド米である「蓮華の花園」を贈呈しました。「蓮華の花園」は、稲が必要とする窒素成分を多く含むレンゲ草を田んぼに咲かせ、耕した後に栽培したもち米のことで、レンゲ草が天然の肥料となるため農薬や化学肥料の使用が抑えられ、環境や人に優しいといわれています。昨シーズンは約30t生産されました。